

業務システム化

地域限定の完全自動運転の商用化を目指しており、バス会社や保険会社、機械式駐車場メーカーなど10社

案する。
同社は「まず、タイヤの保守に人手や手間を要する運送業者に提案したい。将来は車両の安全面で自動運転社会に貢献できれば」としている。
(大島光貴)

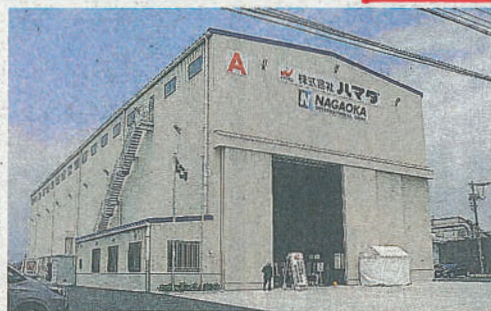
プラントメーカーのハマダ

化工機第2工場完成

今月末稼働

プラントメーカーのハマダ(姫路市)は、同市網干区の本社工場近隣に、化工機の二つ目の工場を完成させた。化学プラントで使われる圧力容器などの大型装置や部品を製造する。6月末から稼働させる。

敷地は約9900平方メートル、工場は平屋で1400



ハマダの化工機の新工場。姫路市網干区浜田

平方メートル。投資額は約6億円。同社は2017年5月、化学プラントの反応塔で使わ

れる部品「スクリーン・インターナル」を製造するナガオカ(大阪市)を買収。同年10月、貝塚工場を姫路のハマダ敷地内に移転し、手狭になっていた。

ナガオカの部品は高品質で、米国の石油化学プラント設計会社ハネウエルUOPの認証を受ける。新工場ではUOP向けの部品を加工し、中近東などに輸出する。

カータンに奨励賞

ティング大賞

「カーチェック柄」神戸上りる神戸カータン

神戸カータンは六甲アイランドで紳士服のテーラーを営む石田原弘さん(63)が2014年に創作。海の青、ポートタワーや神戸大橋の

採用するなど、大企業による参画も目立ってきた。神戸らしさの演出に使う事例も増加。女子フットサルチームのアルコイリス神戸がユニホームに、神戸観光局はクルーズ船の外国人客をもてなすスタッフ衣装に取り入れた。神戸ハーバーランドの観覧車はカータ

ハマダの帽田泰輔社長は「ナガオカと一体となって新工場を運営し、高付加価値品を製造する」と話し、UOPのブライアン・グロバー副社長も「工場新設で、技術力のある製品が増産できる」と期待する。

ハマダの18年5月期単体の売上高は146億円。プラント工事が70億円と売り上げの半分を占める。従業員は約300人。

(塩津あかね)